

町長新春あいさつ

精華町長 木村 要

新年あけましておめでとうございます。今年もどうぞよろしくお願ひいたします。

平素は、精華町行政の推進にご理解とご協力を賜りまして厚くお礼申し上げます。

さて、高齢者がその経験と能力を生かし、働くことを通じて地域社会に貢献し、生きがいを見出すことを目的に、平成17年4月に社団法人として発足されました、精華町シルバー人材センターは、昨年も立派な業績を収められておられますことに対しまして、非常に感謝申し上げます。

これまでの実績に関しまして、年々、受注件数が伸びていることや会員数が増加していることは、同センターの知名度が高まったことと、働く意欲のある高齢の方が増加していることに対しまして、大変喜ばしい結果と感じております。



また、財団法人精華町都市緑化協会との連携に関しましては、近年、町を含めて関係機関と協議を重ねていただきました結果、同緑化協会の業務を同センターが引き継いでいただきましたことは、大変感謝いたしております。

このことは、船越理事長さまを先頭に、役員と会員の皆様のご努力が、住民生活の中にしっかり根を下ろしはじめた結果だと喜んでいるところでございます。

精華町は、今、限られた財源を有効かつ集中的に配分して、6つの重点政策の実現に取り組んでまいります。特に、健康長寿のまちづくりは、シルバー人材センターの皆さまに直接かかわる施策であります。環境共生のまちづくり、子どもを育むまちづくりなどの施策も、同センターの事業と深く関連しております。

私は、「人、自然、科学を結ぶ学研都市精華町」という町の将来ビジョン実現に向けて、三世代が支え合うまちづくり、住民主体のまちづくり、学研都市を活用したまちづくりを基本にして「ふるさとは“ここ精華町”と誇れるまち」づくりに取り組んでおります。

行政課題の解決には、町民各層のご協力、とりわけ永年の経験と知識、人脈で培われた同センター会員の皆さまのご支援が欠かせません。

もちろん、シルバー人材センターの運営に対しましては、精華町としましても、できる限りの支援を惜しまない覚悟でおりますし、また、地域の活性化にも貢献していただくセンターとして大いに期待しており、引き続き、今までと同様に、連携を深めてまいりたいと考えております。

今後も、社団法人精華町シルバー人材センターのますますのご発展と、会員の皆さまのご健勝と、ご多幸をご祈念申し上げ新年のあいさつとします。

精華町子ども祭り

体験コーナーに出展しました

10月16日にむくのきセンターで開催された「第8回精華町子ども祭り」の体験コーナーに、小学校児童を対象とした『筆で字を書いてみよう』を出展しました。

シルバー人材センター会員指導のもと、午前中は64名が小筆で、午後は84名が太筆で、それぞれ習字を体験しました。

